

平成24年度東京都・荒川区 学力調査に関する結果分析シート

学校名 荒川区立第三中学校

学力調査名	調査前に記入		実施結果	
区学力調査 全学年	成果指標(具体的な数値指標)		区 達成率	自校達成率
	【基礎】 6月実施	各学年とも区の教科総合達成率を4ポイント上回る	1年国語71.7 数学72.1 2年国語60.2 数学67.9 3年国語60.5 数学54.9	1年国語68.9 数学68.9 2年国語72.0 数学67.7 3年国語69.9 数学65.0
	【活用】 12月実施	各学年とも区の教科総合達成率を4ポイント上回る		1年国語64.7 数学73.9 2年国語51.7 数学43.7 3年国語52.0 数学62.4
都学力調査 中学校2年 小学校5年	成果指標(具体的な数値指標)		都 正答率	自校正答率
	A 7月実施	都の正答率を上回る。 (国語：都の正答率を上回る、社会：3ポイント上回る 数学：2ポイント上回る、理科：2ポイント上回る 英語：4ポイント上回る)	国語77.2 社会48.6 数学58.1 理科53.1 英語57.8	国語74.1 社会42.8 数学53.8 理科47.8 英語60.2
	B 7月実施	都の正答率を上回る。 (国語：都の正答率を上回る、社会：1ポイント上回る 数学：3ポイント上回る、理科：1ポイント上回る 英語：4ポイント上回る)	国語79.7 社会40.0 数学42.0 理科43.2 英語44.4	国語71.8 社会34.1 数学31.7 理科34.2 英語43.4

平成24年度結果分析および具体的な方策
平成24年度の結果分析 教科における取り組み ・長文の読み取り問題や文章を選択肢とする問題を苦手とする生徒の割合が高い傾向がある。そのために、読解力に着目した指導・対策を行う。 ・四則演算、九九など基礎的な計算の習熟が十分でない生徒が少なくない現状がある。そのために、計算演習の指導を充実させる。 学年での取り組み ・家庭学習について、時間確保や内容など十分に組み合わせていない状況がある。そのため、生徒に家庭学習ノートを導入させる。 全校体制での取り組み ・基礎的・基本的な学力の定着に課題がある。そのために、朝学習の方法を見直し、改善を図ることで、その効果を高める。 ・試験問題等での設問の読み取りが適切にできないなど、読解力等の言語能力に課題がある。そのため、3学期の校内弁論大会に向けての取り組みをさらに充実させる。 具体的な方策 ・汐入小学校及び汐入東小学校との小中連携教育研究において、各教科部会ごとに協議・実践することで、小中連携して学力向上に取り組む。 ・電子黒板等ICT機器を授業で活用することで、授業への興味・関心・学習意欲を向上させる。 ・数学、英語、漢字の各種検定を自校会場として年間を通して実施する等、受検を奨励することで、学習意欲の向上と実力の錬成を図る。さらに放課後の補充教室「三中てらこや」でも、数学・英語の検定に取り組ませることで、学習機会の充実を図る。 ・少人数による習熟度別授業をより有効に活用するために、習熟の程度に応じた指導内容について今一度見直し改善に取り組むことで、生徒個々の程度にあった指導レベルの授業にする。 ・家庭学習の方法をあらためて各学年で指導、自学自習の姿勢を身につけさせる。 ・学校図書館を活用させ、読書量を増やすことにより、語彙力の向上を図る。

※「行の高さ」は変更していただいて構いません。